

# 田中重好教授略歴・業績

## 〈略 歴〉

昭和26年(1951年)12月21日生まれ

## 学 歴

- 1974年 3月 慶應義塾大学法学部政治学科卒業
- 1974年 4月 慶應義塾大学大学院法学研究科政治学専攻修士課程入学
- 1977年 3月 慶應義塾大学大学院法学研究科政治学専攻修士課程修了
- 1977年 4月 慶應義塾大学大学院法学研究科政治学専攻博士課程入学
- 1982年 3月 慶應義塾大学大学院法学研究科博士課程単位取得退学
- 2007年 3月 社会学博士 (慶應義塾大学)

## 職 歴

- 1982年 4月 弘前大学講師 (人文学部)
- 1985年 1月 弘前大学助教授 (人文学部)
- 1993年 9月 弘前大学教授 (人文学部)
- 2001年 4月 名古屋大学大学院環境学研究科教授 (文学部兼任)
- 1985～86年、1988～89年、1993年、2000年 中国北京日本学研究センターに出講

## 学 位

- 1977年 3月 法学修士 (慶應大学大学院法学研究科)  
「公害と住民運動」
- 2007年 3月 博士 (社会学) (慶應大学大学院社会学研究科)  
「共同性の地域社会学：祭り・雪処理・交通・災害」

## 〈業 績〉

### 著 書 (単著)

- 1 田中重好、2006『共同性の地域社会学』ハーベスト社 (p. 476)
- 2 田中重好、2010『地域から生まれる公共性』ミネルヴァ書房 (p. 303)

### 著 書 (編著)

- 1 田中二郎・田中重好・林春男、1986『災害と人間行動』東海大学出版会 (p. 235)
- 2 木股文彦・田中重好・木村玲欧編、2006『超巨大地震がやってきた』時事通信社 (p. 229)

- 3 Tanaka Shigeyoshi, Takahashi Makoto, Irfan Zikri, 2011, *ORANG ORANG YANG BERTAHAN DARI TSUNAMI*, JICA-JST, Nagoya University (p. 128) (インドネシア語)
- 4 田中重好・高橋誠・イリファン・ジックリ、2012『大津波を生き抜く』明石書店 (p. 227)
- 5 田中重好・船橋晴俊・正村俊之、2013『東日本大震災と社会学』ミネルヴァ書房、(p. 348)
- 6 Shigeyoshi Tanaka and Xiaoye Zhe ed., 2013, *A Comparative Sociology of Publicness*, Social Science Academic Press (China) (p. 350)
- 7 高橋誠・田中重好・木股文昭編著、2014『スマトラ地震による津波災害と復興』古今書院 (p. 404)

### 著書(共著)

- 1 十時厳周編著、1989『大都市圏の拡大と地域変動』慶応通信 (p. 396)
- 2 倉沢進・秋元律郎編、1990『町内会と地域集団』ミネルヴァ書房 (p. 308)
- 3 金子勇・園部雅久編、1992『都市社会学のフロンティア3 変動・居住・計画』日本評論社 (p. 230)
- 4 十時厳周編、1992『現代の社会変動』慶応通信 (p. 329)
- 5 松平誠、中島篤編著、1993『講座生活学第3巻 生活史』光生館 (p. 217)
- 6 藤田弘夫・吉原直樹編、1995『都市とモダニティ』ミネルヴァ書房 (p. 263)
- 7 岡並木・山本雄二郎・福留久大監修、1998『新・ふるさとバス白書』技法堂出版 (p. 231)
- 8 藤田弘夫・吉原直樹編、1999『都市社会学』有斐閣 (p. 269)
- 9 川合隆男・藤田弘夫編著、1999『奥井復太郎研究 都市論と生活論の祖型』慶応大学出版会 (p. 388)
- 10 木佐茂男・五十嵐敬喜・保母武彦編、1999『地方分権の本流へ』日本評論社 (p. 344)
- 11 地域社会学会編、2000『キーワード地域社会学』ハーベスト社 (p. 401)
- 12 金子勇・森岡清志編著、2001『都市化とコミュニティの社会学』ミネルヴァ書房 (p. 372)
- 13 杉山雅洋ほか監修、2002『規制緩和時代のバス&タクシー』地域科学研究会 (p. 226)
- 14 藤田弘夫・浦野正樹編、2005『社会学のアクチャリティ8 都市社会とリスク』東信堂 (p. 376)
- 15 岩崎信彦・矢澤澄子監修、2006『地域社会学講座3 地域社会の政策とガバナンス』東信堂 (p. 304)
- 16 社会基盤技術評価支援機構・中部、2007『公共事業における意思決定プロセスと第三者機関の役割』(p. 305)
- 17 西原和久編、2007『水・環境・アジア』神泉社 (p. 189)
- 18 大矢根淳・浦野正樹・田中淳・吉井博明編、2007『シリーズ災害と社会1 災害社会学入門』弘文堂 (p. 279)
- 19 大矢根淳・浦野正樹・田中淳・吉井博明編、2007『シリーズ災害と社会2 復興コミュニティ論入門』弘文堂 (p. 285)
- 20 山下祐介・作道信介・杉山裕子編、2008『津軽 近代化のダイナミズム』御茶の水書房 (p. 582)
- 21 森岡清志編、2008『都市化とパートナーシップ』ミネルヴァ書房 (p. 275)

- 22 林勲男編著、2010『みんぱく実践人類学シリーズ9 自然災害と復興支援』明石書店 (p. 414)
- 23 藤田弘夫編、2010『東アジアにおける公共性の変容』慶応義塾大学出版会 (p. 413)
- 24 清水裕之・檜山哲哉・河村則行編、2011『水の環境学』名古屋大学出版会 (p. 328)
- 25 地域社会学会編、2011.5『新版 キーワード 地域社会学』ハーベスト社 (p. 401)
- 26 Djati Mardiatno and Makoto Takahashi ed., 2012, *Community Approach to Disaster*, Gadjah Mada Univ. Press (p. 195)
- 27 弘前大学震災研究交流会、2013.9『東日本大震災 弘前大学からの展望』弘前大学出版会 (p. 251)
- 28 田毅鵬等著、2015.9『現代社会学文庫 第二輯 重回単位研究 中外単位研究回視与展望』社会科学文献出版社 (北京) (中文) (p. 349)

論文 (学会誌) 査読付き論文あるいは、学会投稿論文、学会依頼論文

- 1 田中重好、1985「町内会と町内社会」  
地域社会学会編『地域社会学会年報』第三集、pp. 155-198
- 2 田中重好・李国慶、1989「現代化進程中城市問題的比較研究」(中文)  
中国社会科学院社会学研究所『社会学研究』第19期、pp. 53-59
- 3 田中重好、李国慶訳、1989「戦後日本社会変動到達の高度」(中文)  
中国社会科学院社会学研究所『国外社会学』1989年第4期、pp. 42-50  
(同論文は中国社会学函授大学『校刊』1989年第6期に転載)
- 4 田中重好、1991「ボーダレス下の地域概念の再検討」  
地域社会学会編『地域社会学会年報』第五集、pp. 1-28
- 5 田中重好・鈴木聖敏、1992「災害時における情報ニーズと情報提供」  
地域安全学会編『地域安全学会論文報告集』No. 2、pp. 37-44
- 6 田中重好、1993「地域情報システムの条件」  
地域安全学会編『地域安全学会論文報告集』No. 3、pp. 135-142
- 7 田中重好、1994「地域情報化と地域社会システム」  
テレビジョン学会『1994年テレビジョン学会年次大会 講演予稿集』pp. 509-512
- 8 田中重好、1994「日本都市社会学における社会調査の今後の課題」  
日本都市社会学会『日本都市社会学会年報』12号、pp. 21-23
- 9 田中重好、小倉賢治、1994「災害情報と災害文化」  
『地域安全学会論文報告集』No. 4、pp. 117-123
- 10 田中重好、1995「地方圏における公共交通の危機と対応策」  
地域社会学会『地域社会学会年報』第7集、pp. 169-206
- 11 田中重好、1995「三陸はるか沖地震時における情報伝達と避難行動」  
地域安全学会『1995年地域安全学会論文報告集』No. 5、pp. 73-80
- 12 村上大和・田中重好、1996「阪神・淡路大震災の間接被災体験」  
地域安全学会『地域安全学会論文報告集』No. 6、pp. 299-306
- 13 田中重好、1997「地方分権化の地域社会学の課題」  
地域社会学会『地域社会学会年報』第9集、pp. 129-157

- 14 田中重好、1997「転換期における『地域の力』」  
東北社会学会『社会学研究』26号、pp. 45-67
- 15 田中重好、1998「奥井復太郎の都市論」  
三田社会学会編『三田社会学』第3号、pp. 34-38
- 16 田中重好・山下祐介、1999「地方都市と過疎地域との新たな関係性」  
日本都市社会学会『日本都市社会学会年報』17号、pp. 109-126
- 17 田中重好、1999「大都市災害の無力感にどう対処するのか：後衛の災害研究」  
日本自然災害学会編『自然災害科学』18-1、pp. 3-9
- 18 田中重好・辻村大生・黒岡晃子、2001「協働型まちづくりの成立条件」  
北海道社会学会『現代社会学研究』14号、pp. 23-48
- 19 田中重好、2002「地域社会における公共性 公共性と共同性の交点を求めて(1)」  
地域社会学会編『地域社会学会年報』第14集、pp. 10-35
- 20 田中重好、2003「地域社会における共同性 公共性と共同性の交点を求めて(2)」  
地域社会学会編『地域社会学会年報』第15集、pp. 62-88
- 21 朱安新・宋金文・田中重好、2003「中国におけるコミュニティづくりの展開」  
日本都市社会学会編『日本都市社会学会年報』21号、pp. 81-96
- 22 田中重好、2004「環境研究に遅れてやってきた都市社会学」  
日本都市社会学会編『都市社会学会年報』21号、pp. 67-75
- 23 田中重好、木村玲欧、Glenda M Besana, Farid Murana、安藤雅孝、木股文昭、Suhirman、  
2005「スマトラ沖地震の津波被害とバンダアチェの都市構造」(日本語版)  
Tanaka Shigeyoshi, Kimura Reo, Glenda M Besana, Farid Murana, Andou Masataka,  
Kimata Fumiaki, Suhirman, 2005, Tsunami Damage and Urban Structure in Banda  
Aceh (English Version)  
『地球惑星科学関連学会 2005年合同大会 予稿集』(CD版、ページ表記なし)
- 24 田中重好、2005「河川と公共性」  
東北社会学会編『東北社会学会年報』34号、pp. 1-30
- 25 田中重好、朱安新訳、2005「日本の城市規制和城市社会的特殊性質」(中文)  
張鴻雁、李強編『中国城市評論』第1輯(南京大学出版社)、pp. 150-156
- 26 山下裕介・澤田信一・田中重好・工藤明、2006「河川流域社会における共通理解の構築と  
合意形成」  
環境科学学会編『環境科学会誌』19-4、pp. 309-318
- 27 田中重好、田淵六郎・木村玲欧・伍国春、2006「津波からの避難行動の問題点と警報伝達  
システムの限界」  
『自然災害科学』25-2、pp. 183-195
- 28 田中重好、2007「三大都市圏の社会・空間構造の再編——名古屋からの示唆」  
日本都市社会学会編『日本都市社会学会年報』25号、pp. 54-57
- 29 Takahashi, M., Tanaka, S., Kimura, R., Umitsu M., Tabuchi, R., Kuroda, T., Ando, M. and  
Kimata, F., 2008 “Restoration after the Sumatra Earthquake Tsunami in Banda Aceh:  
Based on the Results of Interdisciplinary Researches by Nagoya University”, Journal of  
Natural Disaster Science, Volume 29, Number 2, pp. 53-61, November, 2008

- 30 田中重好、2011「縮小社会を問うことの意味」  
地域社会学会『地域社会学年報』23集、pp. 5-17
- 31 田中重好、2011「生活公共性の展開へ：藤田弘夫からの『宿題』」  
三田社会学会『三田社会学』第16号、pp. 4-24
- 32 田中重好、2011「著者リプライ 公共性概念のもっている知的な生産性の高さ」  
三田社会学会『三田社会学』第16号、pp. 155-160
- 33 田中重好、2013「東日本大震災を踏まえた防災パラダイム転換」  
日本社会学会『社会学評論』64-3（有斐閣）、pp. 366-385
- 34 田中重好、2016「コミュニティと復興」  
日本社会病理学会『現代の社会病理』No. 31、pp. 23-38

#### 論文（大学紀要、研究機関の論文）

- 1 田中重好、1978「住民運動と地域社会の政治変動」  
慶応義塾大学法学研究会『慶応義塾大学大学院法学研究科論文集 昭52年度』pp. 67-85
- 2 田中重好、1980「大都市における町内会の組織化」  
慶応義塾大学法学研究会『慶応義塾大学大学院法学研究科論文集 昭54年度』pp. 35-66
- 3 十時巖周・田中重好、1980「横須賀の地域構成」  
慶応義塾大学法学研究会『法学研究』53-3、pp. 1-54（著書2に再録）
- 4 十時巖周・二籾尊夫・田中重好・柄沢行雄、1980「地域社会研究の理論的再検討」  
慶応義塾大学法学研究会『法学研究』53-9、pp. 25-40
- 5 霜野寿亮・佐藤茂子・田中重好・有末賢、1981「『月島調査』の周辺とその後」  
慶応義塾大学法学研究会『法学研究』54-9、pp. 46-90
- 6 田中重好・池上良正・丹野正・田中二郎、1983「弘前ネプタ祭の研究」  
弘前大学人文学部『文経論叢』18-3、pp. 33-72
- 7 田中重好、1984「社会参加と地域社会への定着」  
弘前大学人文学部『文経論叢』19-3、pp. 41-83
- 8 田中重好・熊田俊郎、1984「集団間ネットワークによる地域集団研究の試み」  
慶応義塾大学法学研究会『法学研究』57-8、pp. 56-77
- 9 田中重好、1985「突発災害下における学校防災」  
弘前大学人文学部『文経論叢』20-3、pp. 25-52
- 10 田中重好、1986「災害の長期的影響と災害文化」  
早稲田大学社会科学研究所『早稲田大学社会科学研究所研究シリーズ20 災害と地域社会』  
pp. 107-152
- 11 田中重好、1988「戦後日本の社会変動の到達点」  
弘前大学人文学部『文経論叢』23-3、pp. 31-70
- 12 田中重好、1989「雪国生活の変遷と雪対策」  
弘前大学人文学部『文経論叢』24-3、pp. 33-60
- 13 田中重好・林春男、1989「災害文化論序説」  
早稲田大学社会科学研究所『社会科学討究』35-1、pp. 145-171
- 14 林春男・田中重好、1990「災害文化の形成と継承」

- 早稲田大学社会科学研究所『早稲田大学社会科学研究所研究シリーズ23 都市災害と地域社会の防災力』pp. 203-236
- 15 田中重好、1991「開発戦略としての中国・小城镇開発」  
弘前大学人文学部『文経論叢』26-3、pp. 41-77
- 16 田中重好、1993「都市と町内(1) 江戸町内自治制度の解体期」  
弘前大学人文学部『文経論叢』28-3、pp. 39-72
- 17 田中重好、1993「地域情報システムの設計に関する序論」  
早稲田大学社会科学研究所『社会科学討究』39-2、pp. 341-368
- 18 田中重好、1994「報告 津軽地域路線バス維持活性化のための提案」  
(財)運輸調査局『運輸と経済』54-3、pp. 38-49
- 19 田中重好・黄咏嵐訳、1994「経済改革和中国社会発展」(中文)  
中国・河北大学『日本問題研究』1994年1号、pp. 54-58
- 20 田中重好、1996「三陸はるか沖地震時における北海道・東北沿岸自治体の対応」  
弘前大学人文学部『文経論叢』31-3、pp. 63-99
- 21 岳頌東、中村良二、柄沢行雄、田中重好、銭小英、1996「中国労働システム研究のためのノート 中国社会保障制度の現状と改革を中心として」  
『日本労働研究機構研究紀要』No. 11、pp. 107-130
- 22 田中重好、1996「地域主体の総合交通計画への位置づけの明確化を」  
(財)運輸調査局『運輸と経済』56-7、pp. 15-17
- 23 田中重好、1997「自立と依存に揺れる町内会」  
弘前大学人文学部『文経論叢』32-3、pp. 1-30
- 24 田中重好、1997「中国における都市と農村との関連性」  
弘前大学現代中国研究会『平成8年度教育研究プロジェクト報告書』pp. 53-87  
(論説資料保存会編『中国関係論説資料39号(平成9年分)第四分冊(歴史・政治・経済Ⅱ)増刊』1999年刊行に再録)
- 25 田中重好、1997「津軽地域路線バス維持活性化の取り組み」  
地域科学研究会編『資料集交通計画第3巻 公共交通の整備・利用促進の方策』地域科学研究会、pp. 175-185
- 26 田中重好、1997「地域交通政策の合意形成過程の課題」  
運輸調査局『運輸と経済』57-9、pp. 67-72
- 27 田中重好、1998「中国国有企業における労働・社会保障制度に関する調査の意義」  
日本労働研究機構『中国の労働・社会保障システムの基礎的研究(I)』pp. 7-14
- 28 岳頌東・中村良二・柄沢行雄・田中重好・銭小英、1998「社会保障制度改革の沿革」  
日本労働研究機構『中国の労働・社会保障システムの基礎的研究(I)』pp. 15-44
- 29 田中重好、1999「都市計画の社会学序説」  
弘前大学人文学部『人文社会論叢 社会科学編』第1号、pp. 78-92
- 30 田中重好、1999「後衛の災害研究」  
弘前大学人文学部『人文社会論叢 社会科学編』第2号、pp. 99-114
- 31 田中重好、2000「地域総合交通計画策定の社会的条件の探求(上)」  
弘前大学人文学部『人文社会論叢 社会科学編』第4号、pp. 87-104



- 32 田中重好、2001「地域総合交通計画策定の社会的条件の探求(下)」  
弘前大学人文学部『人文社会論叢 社会科学編』第5号、pp. 149-180
- 33 田中重好、2001「社会的サービス部門と住宅改革」pp. 163-204  
日本労働研究機構『中国国有企業改革のゆくえ』日本労働研究機構調査報告書 No. 140
- 34 田中重好・中村良二、2001「『単位』保障から社会保障へ」pp. 205-224  
日本労働研究機構『中国国有企業改革のゆくえ』日本労働研究機構調査報告書 No. 140
- 35 田中重好、2001「日本の社区発展」(中文)  
北京市社会科学院・北京市西城区人民政府・北京市民政局編『社区建設理論与实践』北京出版社、pp. 141-145
- 36 斎藤淳・田中重好、2003「スローな公共事業 もう一つの公共事業」  
三重県政策開発研修センター『地域政策——あすの三重』8号、2003年冬号、pp. 38-43
- 37 田中重好、2004「戦後日本の地域的共同性の変遷」  
慶応義塾大学法学研究編『法学研究』77-1、pp. 401-446
- 38 田中重好・佐藤賢、2004「過疎地域における『最後の、新しい公共交通』」  
運輸調査局『運輸と経済』64-6、pp. 41-50
- 39 田中重好、2004「持続可能な過疎地域 3」  
名古屋大学大学院社会学研究室『名古屋大学社会学論集』25号、pp. 225-231
- 40 田中重好・徐向東、2005「『単位』制度と中国社会」  
名古屋大学大学院社会学研究室『名古屋大学社会学論集』26号、pp. 255-277
- 41 田中重好、2006「中国社会構造の変動と社会的調整メカニズムの喪失」  
『アジア遊学 特集 中国社会構造の変容』勉誠出版社、pp. 25-39
- 42 Shigeyoshi Tanaka, Masatomo Umitsu, Makoto Takahashi, 2007, Constructing  
Community-Based Preparedness for Tsunami Disaster: Lesson Learned from Aceh,  
Participants of LIPI-JSPS Workshop: Indonesian-Japan Research Collaboration on  
Natural Disaster Abstracts and Curriculum Vitae: ページ記載なし
- 43 田中重好、2007「災害と人間行動、社会システム」  
第42回地盤工学会研究会発表会 技術者交流特別セッション「自然災害に挑む：地盤：工  
学の限界と可能性」資料集、pp. 25-33
- 44 田中重好、2008「地域の共同性は、どこにたっているか」  
『三田社会学会年報』第13号、pp. 123-126
- 45 田中重好、2008「新鮮なイメージを結ばない『共同性の地域社会学』」  
『都市社会学会年報』26号、pp. 216-225
- 46 田中重好、2010「重層的なガバナンスを構想するための覚書」  
『名古屋大学社会学論集』名古屋大学大学院社会学研究室、pp. 21-38
- 47 田中重好、2010「河川の比較社会学に向けて」  
慶応義塾大学法学研究会編『法学研究』83-2、pp. 289-326
- 48 Shigeyoshi TANAKA, 2011 "How should we discuss the publicness",  
Nagoya University 'SHAKAIGAKU RONSHU' 名古屋大学社会学論集 No. 31、pp. 151-194
- 49 田中重好・朱安新、2010「中国社会结构变动和社会性调节机制的弱化」  
中国黑龙江省社会科学院『学习与探索』通卷189期、pp. 35-40

- 50 田中重好、2011「水都再生への序論」  
慶応義塾大学法学研究会編『法学研究』第84巻第6号、pp. 235-277
- 51 田中重好、2012「災害へのコミュニティ・アプローチとコミュニティ防災」  
名古屋大学大学院社会学研究室『名古屋大学社会学論集』32号、pp. 75-98
- 52 Shigeyoshi Tanaka and Makoto Takahashi, 2015, The Sumatora-Andaman Earthquake and the Great East Earthquake: A Comparative Sociology of Disaster, 'NAGOYA DAIGAKU SHAKAIGAKU RONSHU' No. 35, pp. 44-73
- 53 西澤雅道・筒井智士・田中重好、2015「東日本大震災後の地域コミュニティにおける住民主体の防災計画の課題」  
『震災科研プロジェクト2014年度報告書 災後の社会学』No. 3, pp. 62-73
- 54 田中重好、2015「地域社会に根ざす祭り ねぶた・ねぶた祭り」  
『津軽学』（津軽に学ぶ会）pp. 128-135
- 55 田中重好、2016「東日本大震災におけるアンケート調査から見る津波避難行動」  
『名古屋大学社会学論集』36号、pp. 22-47
- 56 田中重好、2015「新しい防災を求めて」  
震災問題情報連絡会『東日本大震災研究交流会 研究報告書』pp. 43-44

## 報告書

- 1 日本住宅公団建築部調査研究課、1978『高層集合住宅居住者の社会学的研究』
- 2 地域生活研究会編、1982『大都市における社会移動と地域生活の変化《社会調査編》』
- 3 田中重好・田中二郎、1984『町並み保存と住民意識 青森県黒石市・こみせ保存に関する意識調査報告』青森県黒石市教育委員会
- 4 弘前大学日本海中部地震研究会、1984『「1983年日本海中部地震」総合調査報告書』
- 5 弘前大学人文学部人間行動コース編、1986『ネプタ祭調査報告書』弘前大学人文学部人間行動コース
- 6 弘前大学人文学部特定研究報告書、1989『文化における「北」』弘前大学人文学部人文学科特定研究事務局
- 7 科学研究費研究成果報告書、1990『積雪寒冷地における生活環境の最適化に関する基礎的研究』
- 8 科学研究費研究成果報告書、1992『都市化社会の進展に伴う生活構造の変容と“きずな”のダイナミックス』
- 9 青森テクノポリス開発機構、1991『青森テクノポリス圏域における人材・情報・活用システム調査報告書』
- 10 弘前台風災害シンポジウム実行委員会、1992『台風9119号によるライフライン災害とリング被害』
- 11 田中重好、1993『都市化と住宅問題』科学研究費研究成果報告書
- 12 日中共同調査団、1993『中華人民共和国広西省東蘭県蘭陽村 チワン族のマーグワイ祭に関する調査報告書』科学研究費研究成果報告書
- 13 弘前大学人文学部人間行動コース、1993『人間行動研究2 弘前さくらまつり調査報告書』
- 14 田中重好、1993『総合的地震防災訓練実施のための調査(13)』国土庁



- 15 津軽路線バス調査ワーキングチーム、1993『津軽地域路線バス維持活性化のための報告書』
- 16 電気通信普及財団、1994『電気通信普及財団 研究調査報告書 No. 8』
- 17 科学研究費突発災害調査研究成果 自然災害総合研究班、1994『1993年異常気象による冷害の調査研究』
- 18 電気通信普及財団、1995『電気通信普及財団 研究調査報告書 No. 9』
- 19 弘前大学人文学部人文学科特定研究事務局、1995『境界とコミュニケーション』
- 20 科学研究費研究成果報告書、1995『自然災害に関する各種データベースの現状把握と総合化に関する研究』
- 21 科学研究費研究成果報告書、1995『地域社会研究に従事する社会学者の組織化及び比較方法の開発と適応に関する研究』
- 22 田中重好・三上泰、1995『岐路に立つ 津軽の乗合バス 津軽路線バスに関するアンケート調査報告書』弘前大学人文学部社会構造論研究室
- 23 田中重好、1996『商店街再生に向けて 弘前街づくりセンター設立の提案』弘前市商工会議所
- 24 科学研究費研究成果報告書、1997『災害復旧時の防災組織のロジスティクス・マネジメント』
- 25 弘前大学人文学部人間行動コース、1997『人間行動研究3 過疎・出稼ぎ・高齢化』
- 26 田中重好・山下祐介、1998『過疎活性化に果たす地方都市の役割』財団法人第一住宅建設協会
- 27 日本労働研究機構、1999『中国国有企業改革調査資料 中国の労働・社会保障システムの基礎的研究(Ⅱ)』日本労働研究機構
- 28 田中重好、1999『平成10年度 弘前市商店街等活性化先進事業報告書』弘前商工会議所
- 29 東日本鉄道文化財団、1999『第6回 交通調査・研究発表会要旨集』
- 30 田中重好、2001『戦後日本の地域計画と地域社会変動：青森県を事例として』科学研究費補助金報告書
- 31 田中重好・中村良二、2001『地方中心都市の機能と整備のあり方に関する研究』科学研究費補助金報告書
- 32 日本労働研究機構2003『中国進出日系企業の研究——党・工会機能と労使関係』日本労働研究機構
- 33 名古屋大学大学院環境学研究科社会環境専攻、2004『人間・社会環境学の構築ワークショップ報告書』
- 34 国土交通省津軽ダム工事事務所、2004『津軽ダム 西日屋生活文化調査報告書』
- 35 名古屋大学大学院環境学研究科社会環境専攻、2005『人間・社会環境学の構築 ワークショップ報告書 2』
- 36 名古屋大学・愛知大学合同社会調査実習報告書、2003『商店街とまちづくり 名古屋市における「協働型まちづくり」研究』
- 37 名古屋大学文学部社会学研究室、2004『社会調査実習報告書2 名古屋市における都市中心地区の変貌』
- 38 名古屋大学大学院環境学研究科、2005『2004年北部スマトラ地震調査報告』

- 39 名古屋大学文学部社会学研究室、2005『社会調査実習報告書3 名古屋市における都市中心地区の変貌 都心回帰と都市づくり』
- 40 名古屋大学環境学研究科、2005『2004年北部スマトラ地震調査報告 II』
- 41 愛知県防災会議地震部会、2005『愛知県震度観測・調査報告書 平成17年3月』第24報
- 42 田中重好・山下祐介、2005『星と森のロマンチックピア運営コンサルタント受託業務調査報告書』弘前大学人文学部社会学研究室
- 43 名古屋大学文学部社会学研究室、2006『社会調査実習報告書4 名古屋市中心地区の河川再生』名古屋大学文学部社会学研究室
- 44 名古屋大学高等研究院、2006『フォーラム2005 アジアの共通理解と総合支援体制 報告書』
- 45 名古屋大学環境学研究科、2007『2004年北部スマトラ地震調査報告 III』
- 46 名古屋大学文学部社会学研究室、2007『社会調査実習報告書5 水環境の再構築(1)』名古屋大学文学部社会学研究室
- 47 名古屋大学環境学研究科、2008『2004年北部スマトラ地震調査報告 IV』
- 48 藤田弘夫編、2008『英国・中国・日本における『公共性』の相異に関する比較社会学的研究』科学研究費補助金研究成果報告書
- 49 和崎春日編、2008『来住アフリカ人の相互扶助と日本人との共生に関する都市人類学的研究』平成16年度-18年度科学研究費補助金研究成果報告書
- 50 田中重好編、2008『流域社会の比較社会学(増補版)』名古屋大学環境学研究科
- 51 名古屋大学文学部社会学研究室、2007『社会調査実習報告6 水環境の再構築(2)』名古屋大学文学部社会学研究室
- 52 名古屋大学環境学研究科、2009『2004年北部スマトラ地震調査報告 V』
- 53 名古屋大学文学部社会学研究室、2010『社会調査実習報告書7 水環境の再構築(3)』名古屋大学文学部社会学研究室
- 54 名古屋大学文学部社会学研究室、2010『社会調査実習報告書8 伊勢湾台風調査報告書(1)』
- 55 名古屋大学環境学研究科、2010『2004年北部スマトラ地震調査報告 VI』
- 56 名古屋大学環境学研究科、2011『2004年北部スマトラ地震調査報告 別冊』
- 57 福岡県立大学、2011『公共社会学科開設記念シンポジウム報告書「公共社会学の構想」』
- 58 名古屋大学文学部社会学研究室、2012『社会調査実習報告書9 伊勢湾台風調査報告書(2)』名古屋大学文学部社会学研究室
- 59 名古屋大学文学部社会学研究室、2011『社会調査実習報告書10 東日本大震災と東海地域(1)』
- 60 藤田弘夫・田中重好編、2013.3『都市環境における生活公共性に関する比較社会学的研究』科学研究費補助金基盤研究成果報告書
- 61 名古屋大学文学部社会学研究室、2014『社会調査実習報告書11 東日本大震災と東海地域(2)』名古屋大学文学部社会学研究室
- 62 労働政策・研修機構、2013『JILPT 資料シリーズ No. 121 中国進出日系企業の基礎的研究』労働政策・研修機構
- 63 田中重好・高橋誠・黒田達朗編、2014『新しい防災の考え方を求めて』名古屋大学環境学研究科

- 64 自治体支援研究会、2015『東日本大震災自治体間支援調査報告書』科学研究費補助金基盤研究成果報告書
- 65 名古屋大学文学部社会学研究室、2015『社会調査実習報告書12 東日本大震災と東海地域(3)』名古屋大学文学部社会学研究室
- 66 田中重好・高橋誠・黒田達朗編、2014『新しい防災の考え方を求めて 2』名古屋大学環境学研究科
- 67 名古屋大学大学院環境学研究科、2016『巨大地震災害の国際比較研究報告書 1』

### その他

- 1 田中重好・林春男、1983「日本海中部地震における津波被害と住民の避難行動」(株)セキュリティワールド『Security』31、pp. 40-44
- 2 田中二郎・田中重好・林春男編、1985『先生 地震だ』どうぶつ社(解説・編集)
- 3 田中重好、1988「機械除排雪はもう“限界”」東奥日報企画開発部編『東奥エコノミー』178号、pp. 24-27
- 4 田中重好、1992.7『「公と私」からみた町内会の歴史』自治大学校・地方自治研究資料センター編集『自治フォーラム』394号、pp. 24-29
- 5 田中重好代表編集、1992.9『リングの涙』弘前大学社会学研究室(解説・編集)
- 6 田中重好・荒木喜一郎・菅勝彦、1993「鼎談 青森県のイメージアップを考える」『月刊 れちおん青森』170号(青森地域社会研究所) pp. 1-13
- 7 田中重好・小野寺昭久、1993「街路が語る地域のイメージ」『れちおん青森』172号(青森地域社会研究所)、pp. 4-25
- 8 田中重好、1993「乗合バス活性化の方向を探る」『れちおん青森』178号(青森地域社会研究所)、pp. 8-20
- 9 田中重好、1994「書評 蓮見音彦・奥田道大編『21世紀日本のネオコミュニティ』」日本社会学会編『社会学評論』45-1、pp. 110-112
- 10 田中重好、1994「境界上の思考」『言語』大修館書店、23-12、pp. 4-5
- 11 田中重好、1995.1「青森の『夢』」『れちおん青森』194号(青森地域社会研究所)、pp. 6-12
- 12 田中重好、1997「青森県の経済は根本的な転換を迫られている」『れちおん青森』224号(青森地域社会研究所)、pp. 24-30
- 13 田中重好、1998「祭りのある地域と『地域への意味賦与』」慶応義塾大学通信教育部編集『三色旗』慶應義塾大学出版会、601号、pp. 2-6
- 14 田中重好、1998.5「新幹線の『わすれもの』」『れちおん青森』234号(青森地域社会研究所)、pp. 18-27
- 15 田中重好、1998.7「地域の力：地域格差から地域の個性へ」『運輸と経済』第58巻第7号、pp. 2-3
- 16 田中重好、1998「行政主導型の地域社会からの転換を」『れちおん青森』239号(青森地域社会研究所)、pp. 8-9
- 17 田中重好、1999「地方分権 第26回 地域公共交通と地方分権化」

- 『法学セミナー』533号（日本評論社）、pp. 114-117
- 18 田中重好、1999「「まちづくりと行政・住民」シンポジウム 全体討論」  
日本都市社会学会『日本都市社会学会年報』17号、pp. 192-193
- 19 田中重好、1999「地域・自治体を主体とする公共交通政策」  
『前衛』1999年11月号（新日本出版社）、pp. 158-163
- 20 田中重好、2000「だれが地方交通を守るのか」  
『れちおん青森』No. 256（青森地域社会研究所）、pp. 17-25
- 21 田中重好、2000「規制緩和・地方分権化時代の地域公共交通の維持」  
自治大学校研究部編『自治フォーラム』2000年7月号（第一法規出版）、pp. 16-21
- 22 田中重好、2001「“協働で道を育てる”時代へ」  
日本道路協会『道路』2001年4月号、pp. 4-5
- 23 田中重好、2001「規制緩和・地方分権化のなかの地域公共交通の創造」  
私鉄総連『私鉄文化』2001年6月号、pp. 6-20
- 24 田中重好、2002「公共性をどう論ずるか」  
『地域社会学会会報』No. 115、pp. 6-11
- 25 田中重好、2002「自立した自治体と住民が国のあり方も変えていく」  
『データマップ日本 日本経済再生の処方箋』NHK 出版、p.125
- 26 田中重好、2002.10「公共事業の『公共性』の再構築」  
政策研究センター『日本の公共事業』pp. 44-47
- 27 阿保順子・近田敬子・向谷地生良・田中重好・村瀬学、2003「座談会 共同体の再構築とその方法」  
『Quality Nursing』2003.1月号（光文堂）、pp. 40-54
- 28 田中重好、2003「基調講演 市町村合併と地域の自治」  
広島県『市町村合併をともに考える 2002 in 広島』pp. 5-19、pp. 20-39
- 29 田中重好、2003「地方発・自治改革」  
『自治 あおもり』86号（青森県市町村振興協会）、p.7
- 30 田中重好、2003「書評 長谷川公一著『環境運動と新しい公共圏』」  
日本社会学会編『社会学評論』54-3、pp. 314-315
- 31 田中重好、2004「地方分権化と住民参加・協働」  
名古屋大学社会学会『名古屋大学社会学会会報』4号、pp. 2-4
- 32 田中重好、2004「自治をすすめるための条例」  
横須賀市政策研究セミナー『自治基本条例の動向と可能性』報告書、横須賀市都市政策研究所、pp. 18-36
- 33 田中重好、2004「中央主権から地域主権へ」  
静岡経済同友会浜松協議会『第17回全国経済同友会セミナー記録集』pp. 36-50
- 34 田中重好、2005「災害予防を考える 第6回 過疎地への支援」  
聖教新聞2005.2.3日
- 35 田中重好、2005「2004年スマトラ沖地震調査から 大津波は自然現象ではなかった」  
名古屋大学大学院環境学研究科『環』9号、pp. 3-8
- 36 田中重好、2004「行政の全事業への防災チェックをかける」

- 消防科学総合センター『消防科学と情報』No. 78、pp. 4-5
- 37 辻村大生・田中重好、2005.12「環境 NPO・NGO」  
名古屋大学環境学研究科編『環境学研究データソース』藤原書店、pp. 44-47
- 38 田中重好、2005「時の言葉 青森県と愛知県を往復しながら」  
『れちおん青森』No. 318（青森地域社会研究所）、2005年5月号、p. 1
- 39 田中重好「防災先進国・日本はどう『防災の知恵』を海外移転するか」  
消防科学総合センター『消防科学と情報』2006年3月号、pp. 2-4
- 40 田中重好、2006「スマトラ地震、ジャワ地震に関する文理融合型の調査研究」  
名古屋大学社会学会会報、7号、pp. 4-5
- 41 伍国春・田中重好、2006「日本“災害文化”建設初探」（中文）  
中華人民共和国民政部国家減災中心編『中国減災』2006年4月号、pp. 26-27
- 42 田中重好、2006「公共交通の文化考：「公共性」をめぐる」  
財団法人日本民営鉄道協会『みんてつ』No. 18、pp. 4-7
- 43 田中重好、2006「文化の翻訳：アジアにおける『公』と『私』の概念の比較」「パネル・ディスカッション」  
名古屋大学高等研究院『フォーラム2005 アジアの共通理解と総合支援体制 報告書』  
pp. 21-44、pp. 63-76
- 44 藤田栄史・田中重好・丹邊宣彦、2008「東海地区第一回社会調査インターカレッジ発表会」  
社会調査士資格認定機構編『社会と調査』創刊号、pp. 100-103
- 45 木股文昭・田中重好・高橋誠、2009「錦におけるオンサイト型津浪避難システムとその歴史・科学的背景」『歴史地震』第24号、p.153
- 46 田中重好、2010「書評 坪井良博著『東南アジア 多民族社会の形成』」  
『ソシオロジ』168号、pp. 115-119
- 47 田中重好、2010「災害文化」  
日本社会学会社会学事典刊行委員会編『社会学事典』丸善、pp. 804-805
- 48 田中重好・檜楨貢、2011「新しい公共の台頭とこれからの地域づくり」  
『国づくりと研修』No. 128、pp. 6-11
- 49 田中重好、2001「地域から生まれる公共性」  
『公共社会学科開設記念シンポジウム報告書「公共社会学の構想」』福岡県立大学、  
pp. 46-54、pp. 67-75
- 50 田中重好、2012「平成3年台風19号」  
北原糸子・松浦律子・木村玲欧編『日本歴史災害事典』吉川弘文館、pp. 681-683
- 51 田中重好、2013「解説―「生と死の境」から」  
NHK スペシャル取材班『巨大津波：その時ひとはどう動いたか』岩波書店、pp. 159-172
- 52 田中重好、2013「東日本大震災から再びスマトラ地震へ」  
慶応義塾大学『三田評論』2013年5月号、pp. 40-43
- 53 田中重好、2013「東日本大震災を経験して、これまでの防災パラダイムを見直す必要がないだろうか」  
平成25年度第2回災害対応研究会講演録（研究会のHP）

- 54 田中重好、2013「防災パラダイムの転換」  
地域社会学会『地域社会学会会報』180号、pp. 4-6
- 55 田中重好、2013、書評「町村敬志著『開発主義の構造と心性』」  
『都市社会学会年報』pp. 150-152
- 56 田中重好、2014「災害」  
『社会調査事典』丸善出版社
- 57 田中重好、2014「自著紹介『東日本大震災と社会学』」  
地域社会学会編『地域社会学会年報』第26集、pp. 155-156
- 58 田中重好、2014「東日本大震災から見てきた日本の防災対策の問題点」  
『参考消息』（非公開、巻号不明；中国語に翻訳の上掲載）
- 59 田中重好、2014「書評 盛山和夫・上野千鶴子・武川正吾編『公共社会学1.2』」  
日本社会学『社会学評論』65-1、pp. 145-147
- 60 田中重好・高橋誠・山岡耕春、2015「日中地震災害の社会的影響に関する研究討論会」  
名古屋大学大学院社会学研究室『名古屋大学社会学論集』35号、pp. 147-154
- 61 田中重好、2016「私が考える災害社会学」  
名古屋大学社会学会会報、13号、pp. 3-9
- 62 丹羽良徳・田中重好、2016「対談 ゴミと社会：公共空間に何が持ち出されるのか」  
みなとまちアートなごや『MAT Nagoya』pp. 95-100

## 翻 訳

- 1 Segal, David R., 1974, *Society and Politics*  
内山秀夫監訳、1980『デモクラシーの政治社会学』早稲田大学出版部（共訳）  
田中重好担当 第7章～第9章、pp. 183-230
- 2 Easthope, G., 1974, *A History Of Social Research Methods*  
川合隆男・霜野寿亮監訳、1982『社会調査方法史』慶応通信（共訳）  
田中重好担当 第6章、pp. 142-163
- 3 日中共同調査団、1993.3、『中華人民共和国広西省東蘭県蘭陽村 チワン族のマーグワイ祭  
に関する調査報告書』科学研究費研究成果報告書、(p. 141)  
中国側の報告の日本語訳は宋国忠・田中重好が担当